

ディプロマ・ポリシー

		問題に関する専門的・学際的理解	課題の設定と分析・解決法の立案	多様な人々との協働性と応用実践
科目区分	人間社会科学	1. 各領域の高度な専門的知識・能力と幅広い学際的な高度な知識を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関する最先端の諸問題について、自ら課題を発見・設定し、その解決に向けて、自ら仮説を構築し、検証することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、多様な人々と協働して問題解決にあたる柔軟性を身につけ、新たな価値の創出に向かうことができる。
	社会創成専攻	1. 人間と社会に関する各領域の高度な専門的知識・理論・研究方法と幅広い学際的知見を身につけ、人間と社会に関する問題を深く理解することができる。	2. 人間と社会に関して、主体的に課題を設定し、その解決に向けて、最先端の知にアクセスしつつ必要な情報を収集し、専門的な方法で分析することができる。	3. 地域および現代社会における諸問題について、専門的知識・研究成果を様々な場面で運用しながら、その解決策を多様な人々に的確に表現し、協働しつつ主体的に行動することで、多様性が尊重される共生社会の創成を先導できる。
	地域経済コース	1. 経済学に関する諸領域の理論および研究方法について高度な専門的知識を身につけている。 2. 専門知識に基づいて、人間と社会を深く理解することができる。 4. 地域および現代社会の諸問題の原因について、的確な情報により、経済学の学術的理論、および、人間と社会に関する学際的研究を応用して、多面的な分析・研究をすることができる。	3. 経済学の高度な専門知識、および、人間と社会の学際的知識に基づいて、人間と社会を深く理解する力とその問題解決に向けて、的確に研究に必要な情報を収集し統計的な手法により分析・可視化することができる。	5. 地域および現代社会の諸問題の解決に向けて、経済学の高度な専門知識を他者に伝え、複数の領域にわたる幅広い教養を踏まえ総合化することで、多様な人々と協働し共生社会を先導して地域社会の未来を創成することにとりくむことができる。 6. 地域および現代社会の諸問題について、他者との議論を通じて経済学の学術的理論に基づく考えをまとめ、その応用としての解決策を多様な人々に対して的確に表現できる。 7. 高度専門職業人として必要な経済学理論と技法に基づき、学際的視点に立って、応用・実践的に社会問題の解決に着手し、共生社会および地域社会の未来の創成を先導するに着手することができる。
研究科共通科目	人間社会科学特論	◎	○	○
コース間連携科目	インターディシプリナリー・コミュニケーション・セッションⅡ	○	○	◎
社会実践科目	他専攻・他コースの専門科目	◎		○
社会実践科目	(科目名省略)		○	◎
コース基盤科目	地域政策基礎論	◎	◎	○
コース専門科目	経済理論特殊講義Ⅰ	◎	◎	○
	経済理論特殊講義Ⅱ	◎	◎	○
	金融特殊講義Ⅰ	◎	◎	○
	財政学特殊講義Ⅰ	◎		◎
	経済政策特殊講義Ⅰ	○		◎
	国際経済特殊講義Ⅰ	◎	○	○
	国際経済特殊講義Ⅱ	◎	◎	○
	地域経済特殊講義Ⅰ	◎		○
	産業・イノベーション論特殊講義Ⅰ	◎		◎
	産業・イノベーション論特殊講義Ⅱ	◎		◎
	情報経済特殊講義Ⅰ	◎	○	○
	情報経済特殊講義Ⅱ	◎	○	○
	福祉経済特殊講義Ⅰ	◎		○
	経営学特殊講義Ⅰ	◎	◎	○
	経済理論特別演習	◎	◎	○
	金融・経営学特別演習	◎	◎	○
	財政学特別演習	◎	○	◎
	経済政策特別演習		○	◎
	国際経済特別演習	◎		○
	地域経済特別演習	○	○	◎
	産業・イノベーション論特別演習	◎	○	◎
	福祉経済特別演習	◎		○
研究指導科目	地域経済演習 修士論文	◎	◎	◎